

事務事業マネジメントシート(平成22年度実績と平成23年度計画)

平成23年 7月26日更新

事務事業名	熊本県市町村道整備促進期成同盟会参画事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり		所属部	都市建設部	課長名	米澤俊一
	施策	5	道路ネットワークの充実		所属課	建設課	担当者名	中村房昭
	基本事業	13	計画的な道路の整備		所属班	管理計画班	(内線)	2272
予算科目	会計一般	款 8	項 1	目 1	事業連番 10063	法令根拠	成果優先度評価結果	⑫
							コスト削減優先度評価結果	⑥
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 22年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始				事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	県内道路の整備促進と道路財源の確保、道路予算の拡大を目的に期成会同盟会を設立し、国県へ要望活動を実施している。県内道路の整備促進と道路財源の確保、道路予算の拡大を目的として、昭和58年11月から設立された。道路特定財源の一般財源化論等があり、厳しい状況である。
【業務の流れ】	総会への参加、自治体議会への道路財源堅持の要望活動等。
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	特になし。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 22年度実績(22年度に行った主な活動)(DO)	23年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
・総会に出席しました。・道路財源確保の研修会に出席しました。	・総会に出席・研修会に出席
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア 総会への出席	⇒ 昨年と同様
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
県内道路	→ ア 国への要望回数
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
財源確保と整備要望	→ ア 国への要望回数
*③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠	
厳しい財政状況の中で、市民より道路の整備要望が多くあっている。その為には、財源の確保及び国の管轄である道路について早期着手に向け要望を行っていく。	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	20年度実績(決算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	24年度予定	25年度見込
① 活動指標	ア	回	1	1	1	1	1	1	1
② 対象指標	ア	回	2	2	2	2	2	2	2
③ 成果指標	ア	回	2	2	2	2	2	2	2
投資入費量	事業内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円						
	(A) 事業費計	一般財源	千円	15	15	15	15	15	15
		(A) 事業費計	千円	15	15	15	15	15	15
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	15	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0
		人件費	正規職員従事人数	人	4	4	4	2	4
延べ業務時間	時間		39	55	40	50	40	0	
(B)人件費計	千円		156	218	159	206	164	0	
トータルコスト(A)+(B)		千円	171	233	174	221	179	15	

総トータルコスト
全体計画
~
年度

(期間限定複数年度のみ記載)

0

事務事業名	熊本県市町村道整備促進期成同盟会参画事業	所属部	都市建設部	所属課	建設課
-------	----------------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部 (SEE)

*原則は22年度の後評価、ただし複数年度事業は22年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①22年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②23年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ・経済対策で国からの交付金の配分があり、道路整備予算が確保されてつつある。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 県内道路の整備は、各市町村とも産業・経済の活性化、観光開発、生活環境の向上につながるものであり要求は高いものである。しかし、財政的に厳しい時期であり、道路特定財源の一般財源化論等も含め道路整備は不透明な状況である。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似団体がない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 同盟会の会員負担割合があるので適当である。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 総会への参加及び負担金の支出であり、正職員以外の対応は不可。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 道路整備の要望及びその為の財源確保を行うことであり、公平・公正である。
	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 会員が市長村であるため移行はできない。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p> <div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>																						